

## 平成23年度業績(ゴチック体の氏名は財団役職員)

### (1) 著作

#### 【機関誌等】

#### ○黒潮生物研究財団紀要“Kuroshio Biosphere” Vol. 8, March 2012

- ・中野理枝, 高知県大月町西泊海域から記録された後鰓類 補遺. pp. 1-15, 3 pls.  
NAKANO, Rie. Opisthobranchs (Mollusca: Gastropoda) from Nishidomari, Otsuki, Kochi Prefecture, Japan. Supplement. pp. 1-15, 3 pls.
- ・KUBOTA, Shin. Green fluorescence protein (GFP) firstly detected in an immature medusa of *Nausithoe* sp. from Japan. pp. 17-18, 1 pl.
- ・久保田信. 黒潮生物研究所付近の有クラゲ類 (その1). pp. 19-22, 1 pl.  
KUBOTA, Shin. Medusozoa collected from around the Biological Institute on Kuroshio (No. 1). pp. 19-22, 1 pl.
- ・目崎拓真. 高知県大月町尻貝初分布記録の耳状放射サンゴ個体のミドリイシ属の一種. pp. 23-26. 1 pl.  
MEZAKI, Takuma. First record of distribution of *Acropora* sp. with cochleariform radial corallites from Shirigai, Otsuki, Kochi Prefecture, Japan. pp. 23-26. 1 pl.
- ・今原幸光. 大阪湾で発見されたコマイハナゴケと日本産ハナゴケ属の再検討. pp. 27-37. 2 pls.  
IMAHARA, Yukimitsu. *Cervera komaii* from Osaka Bay with a brief revision on the Japanese primitive stoloniferan genus *Cervera* (Alcyonacea, Octocorallia). pp. 27-37. 2 pls.

#### ○黒潮生物研究財団機関誌「CURRENT」

#### Vol. 12, No. 1 [通巻44号] (平成23年4月25日発行)

- ・中地シュウ. 表紙: ツバクロエイ *Gymnura japonica*. p. 1
- ・目崎拓真・亀田和成. 2010年黒島周辺海域のスポットチェックの結果と3カ年の比較. pp. 2-3
- ・中地シュウ. 足摺宇和海の棘皮動物1 ヒトデ界の悪役オニヒトデ. p. 4
- ・目崎拓真. 私の愛するサンゴたち(四国編) No. 1 シコロサンゴ *Pavona decussata*. p. 5
- ・田中幸記. 海藻の森をゆく No. 1 フタエモク *Sargassum duplicatum*. p. 5
- ・中地シュウ. 畦道の哲学者 シュレーゲルアオガエル. p. 6

#### Vol. 12, No. 2 [通巻45号] (平成23年7月25日発行)

- ・中地シュウ. 表紙: ニセスナホリムシ *Cirolana harfordi japonica*. p. 1
- ・田中幸記. 愛媛県愛南町須ノ川海岸のホンダワラ類. pp. 2-3
- ・岩瀬文人. 「オニヒトデ駆除マニュアル~酢酸の注射による駆除手法の紹介~」の公開. p. 4
- ・中地シュウ. 足摺宇和海の棘皮動物2 竜串湾で日本初記録 アシウラダイダイグミモドキ. p. 5
- ・目崎拓真. 私の愛するサンゴたち(四国編) No. 2 スギノキミドリイシ *Acropora muricata*. p. 6
- ・田中幸記. 海藻の森をゆく No. 2 カジメ *Ecklonia cava*. p. 6
- ・イベントのお知らせ 黒潮生物研究所10周年記念行事を開催します. p. 7
- ・中地シュウ. クワガタ探しはコンビニで. p. 8

#### Vol. 12, No. 3 [通巻46号] (平成23年10月25日発行) 黒潮生物研究所10周年記念号

- ・中地シュウ. 表紙: タコクラゲ *Mastigias papua*. p. 1
- ・岩瀬文人. 黒潮生物研究所10周年記念行事の報告. pp. 2-3
- ・目崎拓真. 「ここまでわかった幡多の海」講演要旨1 ところ変わればサンゴも違う!? -

サンゴの分布と産卵ー. pp. 4-5

- ・田中幸記. 「ここまでわかった幡多の海」講演要旨 2 あの藻場はどこへ行ったー変わりゆく高知の海藻ー. pp. 6-7
- ・岩瀬文人. 「ここまでわかった幡多の海」講演要旨 3 サンゴの一生を見てみたいーサンゴ種苗生産の取り組みー. pp. 8-9
- ・中地シュウ. 「ここまでわかった幡多の海」講演要旨 4 海に親しみ海を見守るー教育と保全の取り組みー. pp. 10-11
- ・目崎拓真. 私の愛するサンゴたち (四国編) No. 3 サボテンミドリイシ *Acropora florida*. p. 12
- ・田中幸記. 海藻の森をゆく No. 2 キレバモク *Sargassum alternato-pinnatum*. p. 12
- ・中地シュウ. 足摺宇和海の棘皮動物 3 世界最大級のナマコ バイカナマコ *Thelenota ananas*. p. 13
- ・中地シュウ. 地域の自然と遊ぶ. p. 14

Vol. 12, No. 4 [通巻 47 号] (平成 24 年 1 月 25 日発行)

- ・中地シュウ. 表紙: イガグリウミウシ *Cadlinella ornatissima*. p. 1
- ・中地シュウ. 四国西南海域の浅海域に見られる南方系クモヒトデ類について. pp. 2-4
- ・目崎拓真. 私の愛するサンゴたち (四国編) No. 4 コモンキクメイシ *Goniastrea retiformis*. p. 5
- ・田中幸記. 海藻の森をゆく No. 4 タマナシモク *Sargassum nipponicum*. p. 5
- ・中地シュウ. 竜串で四万十高校の課外学習. p. 6

○原著 (査読あり)

- ・Kubota S. & Imahara Y. 2011. Northernmost geographical distribution of *Velevella velevella* (Hydrozoa: Porpitiidae) in the Middle of the North Pacific. *Biogeography*, 13: 95-96.
- ・Maoka T., Akimoto N., Tsushima M., Komemushi S., Mezaki T., Iwase F., Takahashi Y., Sameshima N., Mori M., Sakagami Y. 2011. Carotenoids in Marine Invertebrates Living along the Kuroshio Current Coast. *Marine Drugs*, 9: 1419-1427.

○原著 (査読なし)

- ・Imahara Y. 2011. Preliminary report on the alcyonacean and pennatulacean octocorals from the Izu and Ogasawara Islands. *Memoirs of the National Science Museum*, (47): 25-37.
- ・武田正倫・今原幸光. 2011. 日本初記録のツブイボシヨウジンガニ (新称) *Plagusia immaculate* Lamarck, 1818 (甲殻類、十脚目、シヨウジンガニ科). *南紀生物*, 53 (2): 115-117.
- ・Iwase F., Kimura T. 2011. Restoration of a high latitude coral reef damaged by a landslide in Tatsukushi, Kochi, Japan. in: *Catchment management and coral reef conservation*. (ed. C. Wilkinson & J. Brodie), *Global Coral Reef Monitoring Network (Australia)*. : 94-95.

○その他の著作

- ・今原幸光 (編著). 2011.07 写真でわかる磯の生き物図鑑, トンボ出版 (大阪), 272 pp.
- ・岩瀬文人 (編著). 2011.07. オニヒトデ駆除マニュアル 酢酸の注射による駆除手法の紹介, 黒潮生物研究財団 (高知), 21 pp.
- ・目崎拓真. 2012.01. 若手優秀発表賞受賞報告. 日本サンゴ礁学会ニュースレター, (52): 3.
- ・目崎拓真. 2012.01. 自由集会開催報告 日本サンゴ礁学会ニュースレター, (52): 5.
- ・岩瀬文人. 2012.03. ECO-Report 黒潮生物研究所「四国海の守り人交流会」. 月刊ダイバー, (369): 96-97.
- ・環境省中国四国地方環境事務所. 2012.03. オニヒトデ駆除マニュアル 酢酸の注射による駆除手法の適用. 黒潮生物研究財団 (編), 環境省中国四国地方環境事務所 (岡山市), 29 pp.
- ・Chugoku-Shikoku Regional Environmental Office. 2012.03. Crown-of-thorns starfish control manual.

Introduction to the acetic acid injection method. ed.: Kuroshio Biological Research Foundation, Chugoku-Shikoku Regional Environmental Office (Okayama), 29 pp.

○新聞連載 土曜ネーチャー『大月発くろしお便り』(高知新聞 4週に1回朝刊に掲載)

4月までは毎月1回金曜の夕刊に海からの伝言『大月発くろしお便り』として掲載されていたが、5月からは、土曜ネーチャー『大月発くろしお便り』という新たなシリーズとして土曜の朝刊に連載されることになった。

- ・2011.04.22 なぎさで探索 (岩瀬文人) ここまで夕刊掲載
- ・2011.05.28 設立10周年の節目に (岩瀬文人)
- ・2011.06.25 テングサ大好きアオウミガメ (田中幸記)
- ・2011.07.23 サソリモドキが出た! (中地シュウ)
- ・2011.09.03 巨大シコロサンゴの産卵 (目崎拓真)
- ・2011.10.08 マイナー生物研究の孤独 (岩瀬文人)
- ・2011.11.05 南国にもコンブの仲間 (田中幸記)
- ・2011.12.03 水晶を探す楽しみ (中地シュウ)
- ・2012.01.07 適者生存の戦い (目崎拓真)
- ・2012.02.04 四万十校生が自然体験 (岩瀬文人)
- ・2012.03.03 季節を告げる海藻たち (田中幸記)

(2) 講演等

○学会等

- ・鮫島直己・原田遼・高橋慶光・眞岡孝至・岩瀬文人・米虫節夫・森美穂・坂上吉一. 2011.9.14. サンゴおよびサンゴ卵のカロテノイド成分について. 第25回 カロテノイド研究談話会 (つくば) 口演発表.
- ・岩瀬文人. 2011.9.28. オニヒトデ駆除～酢酸注射による新駆除法の確立と「駆除」にまつわる話. 第7回日本刺胞・有櫛動物研究談話会大会 (柳井) 口演発表
- ・尾花由樹・鈴木翔子・岩瀬文人・中野正夫・赤川泉. 2011.10.1. ハナハゼ *Ptereleotris hanae* のペアボンドと行動の性的二型. 第44回日本魚類学会年会 (弘前) ポスター発表.
- ・広瀬慎美子・目崎拓真・諏訪僚太. 2011.11. イシサンゴに穿孔するルリツボムシ (*Berndtia purpurea* 蔓脚下綱; 尖胸上目) の繁殖生態と地理的変異. 第14回日本サンゴ礁学会 (沖縄県那覇市); 口演発表
- ・山野博哉・杉原 薫・河地正伸・野島 哲・岩瀬文人・野村恵一・清本正人・横山耕作. 2011.11. サンゴ分布北上とそのモニタリング. 第14回日本サンゴ礁学会 (沖縄県那覇市); 口演発表
- ・大久保奈弥・Hayward D.・目崎拓真・野澤洋耕・中野義勝・Foret S.・深見裕伸・Ball E. 2011.11. サンゴにおける原腸形成期はいつから始まるのか? 第14回日本サンゴ礁学会 (沖縄県那覇市); 口演発表
- ・目崎拓真. 2011.11. 造礁サンゴの産卵情報は分類に役立つのか? 第14回日本サンゴ礁学会 (沖縄県那覇市); ポスター発表. 若手優秀発表賞受賞
- ・鮫島直己・原田 遼・高橋慶光・眞岡孝至・岩瀬文人・米虫節夫・森 美穂・坂上吉一. 2011.11. サンゴおよびサンゴ卵中のカロテノイド成分の検出. 第14回日本サンゴ礁学会 (沖縄県那覇市); ポスター発表.
- ・久保田賢・目崎拓真. 2011.11. 高知県大月町における造



礁サンゴに共生するクレード F の褐虫藻の存在. 第 14 回日本サンゴ礁学会 (沖縄県那覇市); ポスター発表.

- Keshavmurthy Sh., Mezaki T., Reimer J., Wang J. T., Hsieh H. J., Chen C. A. 2011.11. Phylogeography of symbiotic polymorphism in *Aiptasiapuchella* in the West Pacific. 第 14 回日本サンゴ礁学会 (沖縄県那覇市); ポスター発表.
- 中地シュウ. 2011.12. 四国西南海域の棘皮動物. 第 8 回棘皮動物研究集会 (名古屋大学博物館); ポスター発表
- 今原幸光. 2012.01. 大阪湾で発見されたコマイハナゴケと日本産ハナゴケ属の再検討. 大阪湾海岸生物研究会総会・研究発表会 (大阪市立自然史博物館); 口演発表
- 中地シュウ. 2012.02. 宝石珊瑚網で混獲される深い海の生き物について. はたのおと 2012 (四万十市); 口演発表
- 田中幸記. 2012.03. 高知県沿岸における藻場構成種の変遷と生育環境の変化. 第 11 回日本応用藻類学会春季シンポジウム (東京海洋大学); 口演発表
- 岩瀬文人. 2012.03. 黒潮生物研究所における珊瑚類の研究と展望. 宝石珊瑚国際フォーラム in 高知 (IPCF 2012) (高知市); 口演発表

#### ○依頼講演等

- 岩瀬文人. 2011.05. リーフチェック調査法. リーフチェック in 宍喰 (徳島県海陽町)
- 中地シュウ. 2011.07. 親子で親しむ磯の生き物ー目指せ達人! 磯遊びクイズー. 中筋小中学校 PTA 生活研修事業「親子で親しむ磯の生き物」(黒潮生物研究所)
- 岩瀬文人. 2011.08. 土佐の海をいろどるサンゴたち. 大月町社会福祉協議会ボランティア体験学習 (黒潮生物研究所)
- 田中幸記. 2011.08. 海の生き物どんなかたち? 森・川・海・人 つながり再発見! 2011 「海編」(黒潮生物研究所)
- 岩瀬文人. 2011.08. サンゴと磯の生きものー海産無脊椎動物の分類と標本作製法ー. 高知の自然の情報を残す人をつくる (高知大学)
- 岩瀬文人・本川達夫・久保田信. 2011.10.08. 身近な海にこんな生き物が! ~映像とトークで学ぶ四国の海の生き物たち~. 黒潮生物研究所 10 周年記念イベント「歌おう♪さわろう! 海の生きもの」(高知市)
- 目崎拓真. 2011.10. ところ変わればサンゴも違う!?ーサンゴの分布と産卵ー. 黒潮生物研究所開所 10 周年記念シンポジウム「ここまでわかった幡多の海」~黒潮生物研究所 10 年の取り組み~ (大月町農村環境改善センター)
- 田中幸記. 2011.10. あの藻場はどこへ行ったー変わりゆく高知の海藻ー. 黒潮生物研究所開所 10 周年記念シンポジウム「ここまでわかった幡多の海」~黒潮生物研究所 10 年の取り組み~ (大月町農村環境改善センター)
- 岩瀬文人. 2011.10. サンゴの一生を見てみたいーサンゴ種苗生産の取り組みー. 黒潮生物研究所 10 周年記念シンポジウム「ここまでわかった幡多の海」~黒潮生物研究所 10 年の取り組み~ (大月町農村環境改善センター)
- 中地シュウ. 2011.10. 海に親しみ海を見守るー教育と保全の取り組みー. 黒潮生物研究所開所 10 周年記念シンポジウム「ここまでわかった幡多の海」~黒潮生物研究所 10 年の取り組み~ (大月町農村環境改善センター)
- 岩瀬文人. 2011.10. 変わりゆく四国の海~何を保全するべきか~. のいちの森の文化祭「人と動物の笑顔のために」動物公園フォーラム「高知の自然を守る~土佐の生物多様性元年を目指して~」(香南市)
- 中地シュウ. 2011.10. 足摺宇和海の環境と生き物ーサンゴの海と生き物たちー. 宇和島自然科学教室 (愛南町立内海中学校)
- 中地シュウ. 2011.10. 足摺宇和海の棘皮動物. 宇和島自然科学教室 (愛南町立内海中学校)

- ・中地シュウ. 2011.10. 地域の海を守る活動について. 宇和島自然科学教室 (愛南町立内海中学校)
- ・Chen A., 目崎拓真, Keshavmurthy Sh. (オーガナイザー) 2011.11. Hybridization or reproductive isolation of high latitude scleractinian corals and their implication for environmental change. 第14回日本サンゴ礁学会 自由集会1 (沖縄県那覇市)
- ・今原幸光. 2011.11. 海こそ生物多様性のみなもとー写真でわかる磯の生き物図鑑こぼれ話. 大阪自然史フェスティバル2011・リミテッド. (大阪市立自然史博物館)
- ・今原幸光. 2011.11. 相模灘調査で採集されたウミトサカ類等について. 大阪自然史フェスティバル2011・リミテッド. (大阪市立自然史博物館)
- ・中地シュウ. 2011.11. 足摺宇和海国立公園海域におけるサンゴ保全活動とサンゴの移植法について. 足摺宇和海国立公園大月地区パークボランティアの会 サンゴ移植イベント勉強会 (大月町エコロジーキャンプ場)
- ・中地シュウ. 2011.11. 竜串周辺の海の生き物と環境①サンゴは泳ぐし、けんかもする. 第五回竜串リーフチェック講演会 (土佐清水市竜串)
- ・中地シュウ. 2011.11. 竜串周辺の海の生き物と環境②あなたの知らない!? 無脊椎動物の世界～棘皮動物を中心に. 第五回竜串リーフチェック講演会 (土佐清水市竜串)
- ・岩瀬文人. 2011.12. 非サンゴ礁域 (四国) における有性生殖によるサンゴ種苗生産とその適用. 海洋博研究センター サンゴシンポジウム2011 (沖縄県本部町)
- ・岩瀬文人. 2011.12. サンゴという生き物 (千年サンゴの仲間達). 千年サンゴと生きる! まちづくりタウンミーティング (徳島県牟岐町)
- ・岩瀬文人. 2012.02. 安全管理.海(岸)域での活動に必要な事前準備等について. 自然体験活動指導者養成研修会 (四万十市)
- ・岩瀬文人. 2012.02. 自然の理解～海洋と生物～. 自然体験活動指導者養成研修会 (四万十市)
- ・岩瀬文人. 2012.02. オニヒトデ駆除～酢酸注射による新駆除法の確立と「駆除」にまつわる話. オニヒトデ酢酸注入駆除に関する意見交換会 (石垣市)
- ・岩瀬文人. 2012.02. 四国の海の生物多様性を守るために. 第1回四国生物多様性会議 in 松山 (松山市)
- ・田中幸記. 2012.02. 宿毛湾周辺における藻場の現状. 育成藻場実施協議会 (宿毛市すくも湾漁協)
- ・今原幸光. 2012.03. 大阪湾で見つかったコマイハナゴケ (八放サンゴ類) ー (付) 日本産ハナゴケ属の再検討. 黒潮生物研究所平成23年度研究助成成果講演会. (大阪府堺市 ステラケミファ株式会社三宝工場)
- ・岩瀬文人. 2012.03. 造礁サンゴの種苗生産ー卵から育てたサンゴが卵を産むまで. 黒潮生物研究所平成23年度研究助成成果講演会. (大阪府堺市 ステラケミファ株式会社三宝工場)

### (3) 調査報告書等

- ・平成23年度環境生態系保全活動モニタリング調査及び進行管理委託業務報告書. 2012.03. (宿毛湾環境保全連絡協議会)
- ・平成23年度竜串地区自然再生事業海域調査業務報告書. 2012.03. (環境省中国四国地方環境事務所)
- ・平成23年度モニタリングサイト1000事業における四国南西部沿岸海域のサンゴ礁モニタリング業務報告書. 2012.01. (財団法人自然環境研究センター)
- ・平成23年度マリンワーカー事業 (足摺地域オニヒトデ等駆除事業) 報告書. 2012.03. (環

境省中国四国地方環境事務所)

- ・高知県香南市夜須町大手の浜周辺海域の造礁サンゴ群集の変遷に関する調査業務報告書. 2012.03. (高知大学)
- ・平成 23 年度ウミトサカ類生物相調査における標本収集および同定業務報告書. 2012.03. (財団法人海洋博覧会記念公園管理財団)
- ・H23 自 竹ヶ島海中公園 海・穴喰浦 自然再生事前調査業務報告書. 2012.03. (ニタコンサルタント株式会社)
- ・平成 23 年度マリンワーカー事業 (オニヒトデ駆除手法調査事業) 報告書. 2012.03. (環境省中国四国地方環境事務所)
- ・環境省中国四国地方環境事務所. 2012.03. オニヒトデ駆除マニュアル 酢酸の注射による駆除手法の適用. 財団法人黒潮生物研究財団 (編) : 29 pp. : 再掲
- ・Chugoku-Shikoku Regional Environmental Office. 2012.03. Crown-of-thorns starfish control manual. Introduction to the acetic acid injection method. ed., Kuroshio Biological Research Foundation : 29 pp. : 再掲

#### (4) 研究所利用者の業績

##### ○学位論文

- ・Tanaka H. 2012. 01. Sexual selection and speciation in interstitial environment inferred from the genus *Parapolycope* (Ostracoda: Crustacea). Graduate School of Science and Technology, Educational Division Department of Environment and Energy System, Shizuoka University.  
田中隼人. 2012.01. パラポリコープ属 (貝形虫綱: 甲殻亜門) から推測する間隙環境における性選択と種分化. 静岡大学大学院自然科学系教育部環境・エネルギーシステム専攻

##### ○卒業論文

- ・斉藤宇泰・松村 哲・宮川直喜. 2012.03. 四国西南海域における造礁サンゴの分布と加入 - 2011 年. 東海大学 2011 年度卒業論文 指導教員: 横地洋之准教授.
- ・尾花由樹・鈴木翔子. 2012.03. ハナハゼ *Ptereleotris hanae* の社会行動-性的二型と配偶システム-. 東海大学 2011 年度卒業論文 指導教員: 赤川 泉教授.

##### ○学会等

- ・田中隼人. 2011.06. *Parapolycope spiralis* (貝形虫綱: ポリコープ科) と 3 形態群. 日本動物分類学会第 47 回大会 (琉球大学)
- ・尾花由樹・鈴木翔子・岩瀬文人・中野正夫・赤川泉. 2011.10. ハナハゼ *Ptereleotris hanae* のペアボンドと行動の性的二型. 第 44 回日本魚類学会年会 (弘前) : 再掲
- ・岡本 慶・亀崎直樹. 2011.10. フランス国立自然史博物館に所蔵されている *Chelonia agassizii* のホロタイプについて. 第 50 回日本爬虫両棲類学会.
- ・寺岡孝晃. 2011.11. 高知県奈半利町に生息する造礁サンゴ群集. 第 14 回日本サンゴ礁学会 (沖縄県那覇市)

##### ○その他講演

- ・岡本 慶. 2012.03. 黒潮流域で発見された *Chelonia* sp. と *C. agassizii* の形態比較. 黒潮生物研究所平成 23 年度研究助成成果講演会. (大阪府堺市 ステラケミファ株式会社三宝工場)
- ・戸簾 祥. 2012.03. ヒクラゲのシスト形成の解明. 黒潮生物研究所平成 23 年度研究助成成果講演会. (大阪府堺市 ステラケミファ株式会社三宝工場)